

第14回 鶴川駅南側街づくり検討会 会議要旨

場 所：和光大学ポプリホール鶴川 3階会議室

日 時：9月28日(土曜日) 10時00分～11時00分

出席者

地 権 者 等 : 10名

町 田 市 : 吉原担当課長、加藤係長、高梨主任、森本主事

ポ リ テ ッ ク ・ エ ン ー ジ ン ー ギ ー : 金子氏、小川氏

【検討会での決定事項】

① 第14回検討会にて街づくりビジョンを原案通り確定しました。

【検討会の議事】

<次第>

1. 街づくりビジョンの全体説明会、個別相談会の報告について
2. 街づくりビジョンの確定について
3. 鶴川駅利用者アンケートの実施(案)について
4. 今後の街づくりの検討の進め方について

1. 全体説明会、個別相談会の報告について

全体説明会 日時：8月28日(水) 19時から20時 参加者：10名

- 鶴見川を挟んだ岡上側の地権者から「検討会へ参加したい。」との要望があり、まずは検討会に参加していただき、どのような市街地整備の要望があるか検討会でお話ししてほしいとお答えしました。

個別相談会 日時：9月3日(火)から9月9日(月)まで 相談件数：4件

- 「今後の生活設計等のためにも早く進めてほしい。」との意見があり、皆様と協働で市街地整備手法や今後のスケジュールの検討を行い、なるべく早い段階で市街地整備の実現を目指したいと考えているとお答えしました。
- 「地域内の道路幅員はどの程度で整備するのか」という質問があり、道路幅員については、今後皆様とどのような土地利用が良いか検討を進め、そのために必要な道路幅員を定めたいと考えているとお答えしました。
- 「道路整備を行う場合、敷地面積が減少するため、建ぺい率・容積率を上げたほうが良い」という意見があり、道路幅員と同じく今後の土地利用に応じた建ぺい率・容積率への見直しが必要であるとお答えしました。
- 「街づくりの整備手法についてどのように検討しているか」という質問があり、都市計画決定されている土地区画整理事業ありきではなく、生活環境の向上や駅前の利便性を確保する上で最適な整備手法を検討したいと考えているとお答えしました。
- 「下水道整備はどうなるのか」という質問があり、地域内の道路整備の構想に合わせ、下水道部において検討を進めることになるとお答えしました。

2. 街づくりビジョンの確定について

- アンケート調査、全体説明会、個別相談会と時間をかけて調整してきましたが、否定的な意見はなく、街づくりビジョン(案)について理解が得られていると市は考えています。そのため、街づくり検討会として「街づくりビジョン」を確定させても良いのではと考えていることを説明しました。

⇒出席者の同意を受け、検討会として「街づくりビジョン」を原案通り確定しました。

3. 鶴川駅利用者アンケートの実施(案)について

- 鶴川駅利用者アンケートを実施することについて説明しました。

<説明内容>

① アンケート実施の理由について

駅利用者から見た駅周辺の交通や土地利用の課題等について広く意見を伺い、今後の市街地整備の検討の参考とするため、駅利用者へアンケート調査を実施します。

② アンケート調査方法について

対象者：三輪や岡上などの駅南側からの駅利用者

調査方法：アンケート用紙を配布し郵送で回収

③ アンケートの設問について

駅利用者から見た街の課題や利便性の向上について等

4. 今後の街づくり検討会の進め方について

- 街づくりビジョンを基に具体的な道路や土地利用について、皆様と検討を進めたいと考えています。
- 東西エリアに分けて課題を整理していく必要があるのではないかと考えています。

<検討会での主なご意見>

(意見) 街づくりの着地点まではどのくらいの期間を想定しているのか。

(市の考え) 市ではエリア毎の市街地整備案策定まで2年くらいで到達したいと考えています。

(意見) 川崎市へ街づくり検討会の情報提供をして街づくりの要請をしてほしい。

(市の考え) 川崎市へはこれまでも情報提供をしており、今後も鶴川駅南側街づくりへの協力を要請していきます。